

平成 20 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市茶室「泗翠庵」
所在地	四日市市鶴の森一丁目13番17号
指定管理者	名称 財団法人 四日市市まちづくり振興事業団 代表者 理事長 小菅 弘正 住所 四日市市本町9番8号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部室（問合せ先）	市民文化部 文化国際課 TEL：059-354-8239 E-mail：bunkakokusai@city.yokkaichi.mie.jp

モニタリングの総合コメント

茶室「泗翠庵」の管理運営状況については、施設の目的を十分達成し、指定管理者導入の目的である市民サービスの向上と経費の削減も果たしています。また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

市民が茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供し、伝統文化の振興を図り市民の文化と教養の向上に資するという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われており、来館者数は当初計画を上回りました。来館者数・平均稼働率は、いずれも前年度平均を大きく上回り、また、立礼席来客数は開庵以来、10万人を達成し多くの方に足を運んでいただけました。

施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。

管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行されていました。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施しました。

自主事業については、昨年度より事業数を増やした結果、参加者が大幅に増えました。ただ、参加者数が少ない事業もあったので、もっと知っていただけるよう、様々な方法で周知を図る必要があります。

また、職員が茶室および茶道について研鑽を積み、見学者にわかりやすく説明することによりリピーターが増えたこと、そして統合事業団の強みを活かし、外国人への茶道をはじめとする日本文化の紹介の場として利用していただけたことは、伝統文化の振興を図るという点からも評価できます。

今後の業務改善に向けた考え方

伝統文化に親しむことができ、そして誰もが気軽にお茶を楽しめるような場となるよう更に工夫する必要があります。

地元萬古作家の作品による立礼席での呈茶など趣向をこらした取り組みをしているものの、まだ全体的に利用率は低く、泗翠庵をよく知ってもらうため、ポスター、チラシ等を近鉄四日市駅周辺に掲出するなど努力はされていますが、もっと様々な方法で周知を図る必要があります。

また、市外からのお客様のおもてなしの場としての茶室利用やリピーターだけでなく今まで足を運んだことのない方にも来庵してもらえよう、もっと気軽にお茶を楽しめるような新たな企画を実施するなど、今後は多面的に事業を検討していく必要があります。

なお、建築後15年を経過する木造建造物であるため、市として長期的な修繕計画を作り予算化する必要があります。管理者として適切な提案を求めていきます。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

市民が茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供し、伝統文化の振興を図り市民の文化と教養の向上に資するという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われており、来館者数は当初計画を上回りました。来館者数・平均稼働率は、いずれも前年度平均を大きく上回り、また、立礼席来客数は開庵以来、10万人を達成し多くの方に足を運んでいただけました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行されていました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

地元萬古作家の作品を使った立礼席での企画事業や自主事業の茶道体験講座など、伝統文化に触れ、誰もが気軽にお茶を楽しめるような事業を実施しました。特に、萬古作家の茶碗での立礼席は好評でした。また、職員が茶室および茶道について研鑽を積み、見学者にわかりやすく説明することによりリピーターが増えました。そして統合事業団の強みを活かし、外国人への茶道をはじめとする日本文化の紹介の場として利用していただけました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営されていました。施設の維持管理についても計画通り実施されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

使用料等の収入や、管理費の支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事件・事故や災害等の各種対応マニュアルを作成し、訓練を実施されていました。個人情報保護についても日頃から職員研修を行い、犯罪防止・秘密保持に努めています。損害賠償責任保険の加入もされていました。

社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯や清掃時の節水等の省力化、廃棄物の分別化、障害者利用についての対応について、それぞれ創意工夫をして実施されていました。

事業収支

経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行されました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について「事業報告書及び決算報告書」を分析した結果、特に大きな課題や問題はないと判断しました。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市茶室「泗翠庵」		所管課:市民文化部 文化国際課
所在地	四日市市鶴の森一丁目13番17号		設置年月:平成6年7月6日
設置目的	市民が茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供し、もってそれら伝統文化の振興を図り市民の文化と教養の向上に資するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市茶室条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (m ²)	1,407m ²
		延床面積 (m ²)	267.8m ²
	小間棟 広間	四畳半下座床、点前座台目構え、台目切炉 主室9畳、次の間6畳	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道等の伝統文化に親しむことができる場の提供に関する事業 ・茶道等の伝統文化の普及及び啓発に関する事業 ・その他茶室の設置目的を達成するために必要な事業 		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	300日	300日	0日
開館時間	9時～20時30分	9時～20時30分	
受付時間	9時～16時30分	9時～16時30分	
事業開催	15回	15回	

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
自主事業参加者数		336人	
施設別利用件数	広間及び次の間	148	小間の利用件数は広間の内数
	小間	44	
	計	148	
利用団体数	35	39	4
施設別来館者数	広間及び次の間	3,620	小間の来館者数は広間の内数
	小間	974	
	計	3,620	
	立礼席	7,689	
	見学者	1,835	
	合計	9,800	
稼働率	広間及び次の間	31%	31%
	小間		8.7%

4 . 事業収支

(単位:円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
事業収入	管理料収入	9,649,000	9,649,000	0
	茶室収入	2,554,000	3,032,750	478,750
収入合計		12,203,000	12,681,750	478,750
人件費		4,794,000	4,360,667	433,333
管理費		7,409,000	8,714,188	1,305,188
通信運搬費		54,000	58,138	4,138
消耗什器備品費		28,000	0	28,000
消耗品費		1,730,000	2,009,712	279,712
修繕費		215,000	755,521	540,521
印刷製本費		261,000	313,520	52,520
光熱水費		1,145,000	1,443,027	298,027
賃借料		798,000	797,430	570
保険料		3,000	2,500	500
手数料		15,000	4,170	10,830
委託料		3,064,000	3,227,010	163,010
広告宣伝費		76,000	70,800	5,200
その他		20,000	32,360	12,360
支出合計		12,203,000	13,074,855	871,855
収 支		0	393,105	393,105

平成20年度 茶室 泗翠庵 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	300日	300日	当初計画通り適正に執行された		適
開館時間	9時～20時30分	9時～20時30分	当初計画通り適正に執行された		
受付時間	9時～16時30分	9時～16時30分	当初計画通り適正に執行された		
事業開催	15回	15回	当初計画通り適正に執行された		

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
自主事業参加者数		336人		自主事業参加者数は、財団セミナーにおいて定員を設定していなかったため計画と比較できないが、事業数を増やしたため、昨年度実績より、大幅に増加した。	適
施設別 利用件数	広間及び次の間	148	小間の利用件数は広間の内数		
	小間	44			
	計	148			
利用団体数	35	39	4		
施設別 来館者数	広間及び次の間	3,620	小間の来館者数は広間の内数		
	小間	974			
	計	3,620			
	立礼席	7,689			
	見学者	1,835			
合計	9,800	13,144	3,344		
稼働率	広間及び次の間	31%	31%		
	小間		8.7%		

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
事業収入	管理料収入	9,649,000	9,649,000	0	勤務体制 臨時4名 自主事業数を増やし、来館者数も目標を上回ったため、収入が増加した。 支出では、屋根の雨漏り修繕が発生したため大幅に増となった。	適
	茶室収入	2,554,000	3,032,750	478,750		
	雑収入	0	0	0		
	収入合計	12,203,000	12,681,750	478,750		
人件費	4,794,000	4,360,667	433,333			
管理費	7,409,000	8,714,188	1,305,188			
通信運搬費	54,000	58,138	4,138			
消耗什器備品費	28,000	0	28,000			
消耗品費	1,730,000	2,009,712	279,712			
修繕費	215,000	755,521	540,521			
印刷製本費	261,000	313,520	52,520			
光熱水費	1,145,000	1,443,027	298,027			
賃借料	798,000	797,430	570			
保険料	3,000	2,500	500			
手数料	15,000	4,170	10,830			
委託料	3,064,000	3,227,010	163,010			
広告宣伝費	76,000	70,800	5,200			
その他	20,000	32,360	12,360			
支出合計	12,203,000	13,074,855	871,855			
収 支	0	393,105	393,105			

総合コメント

運営については、ほぼ計画通り実施された。利用状況について、自主事業参加者数は財団セミナーにおいて定員を設定していなかったため計画と比較できないが、事業数を増やしたため、昨年度実績より大幅に増加した。また、延べ来館者数は当初計画を上回る結果となった。経費については、屋根の雨漏りの修繕を実施したため、収支はマイナスとなってしまったが、ほぼ計画通り執行されていた。

また、現金受払簿等の経理関係調書や領収書等の証拠書類については、適正に整理されていた。

平成20年度 茶室 泗翠庵 運営状況 チェックシート - 2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		自主事業参加者数は、財団セミナーにおいて定員を設定していなかったため計画と比較できないが、事業数を増やしたため、昨年度実績より大幅に増加した。また、職員が研鑽を積み見学者にわかりやすく説明することによりリピーターが増え、立礼席・見学者数は昨年度より大きく増加し、来館者数は当初計画を上回った。	適
事業 収支	収入	来館者数、とくに立礼席の来館者数が多かったため、茶室収入が当初計画より約48万円増加した。	適
	支出	当初、予定していなかった、屋根の雨漏り修繕が発生したため、修繕費が約54万円大幅に増加した。	適